

市政記者各位

令和 2 年 1 月 23 日
経済観光文化局新産業振興課
(公財) 九州先端科学技術研究所

「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」 受賞者の決定及び表彰式の開催について

福岡市では、エンジニアが集まる、活躍する、成長する街、福岡を目指し、エンジニアの皆さんとともに取り組みを進めています。

昨年 10 月、エンジニアコミュニティ文化の発展やエンジニアを取り巻く環境の充実に貢献された「エンジニアコミュニティ」と「企業」を表彰する「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」を創設しました。

このたび、本アワード初となる受賞者を別紙のとおり決定し、表彰式を下記のとおり『エンジニアフレンドリーシティ福岡フェスティバル内』にて執り行います。

当日は、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

1 日時

令和 2 年 1 月 31 日 (金) 14:00～15:00

2 場所

エンジニアカフェ メインホール (福岡市中央区天神 1 丁目 15-30)

3 受賞者 (別紙)

コミュニティ部門：4 コミュニティ

企業部門：2 社

4 タイムスケジュール (予定)

14:00～14:10 開会・市長挨拶

14:10～14:25 表彰式 (表彰者：福岡市長)

14:25～15:00 受賞者プレゼン (各社 5 分程度)

5 参考 (本アワード対象要件)

(1) コミュニティ部門

福岡市内で、積極的にエンジニアの勉強会や交流会等の活動を行い、エンジニアの交流促進や活動の活発化、スキルアップ等に貢献する活動を行っているエンジニアコミュニティ。

(2) 企業部門

福岡市内で、エンジニアのスキルアップにつながるユニークな取り組みや働きやすい環境づくり、コミュニティ活動への支援等を行っている企業。

<問い合わせ先>

福岡市経済観光文化局新産業振興課

担当：上原

電話：092-711-4334 (内線 2519)

「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」受賞者一覧（エントリー順）

○コミュニティ部門



Fukuoka.go（フクオカ ドット ゴー）

Go 言語に関する勉強会を登壇形式で継続的に開催しています。勉強会では、業務や OSS 開発で得た技術的な知見について、毎回熱く楽しい議論が交わされています。

2019 年からは全国規模のカンファレンス開催や他地域のコミュニティとの遠隔勉強会など、全国のコミュニティと繋がる活動を始めています。



FUKUOKA Engineers Day（フクオカ エンジニアーズ デイ）

福岡でチャレンジしている人をピックアップする」ことを目標に、「福岡のエンジニアのためのイベント」として過去 4 回にわたり開催しました。今回は福岡の各コミュニティに「コミュニティスポンサー」という形式でセッションの 1 枠（15 分）を担当していただき、全 22 のコミュニティ が一堂に会する技術イベントを行いました。



Code for Fukuoka（コード フォー フクオカ）

全国、全世界の Code for と同様にシビックテック（市民の力でテクノロジーを利用して地域課題解決する活動）を行っていく活動をしています。現在は子育てにおける課題解決として、子どもが遊ぶ遊具で検索できる公園アプリの開発を進めています。そのために福岡市へ公園や遊具データのオープンデータ化を依頼し、昨年度オープンデータ化していただきました。現在はそれでも足りないデータを収集するためのアプリ開発を進めています。



AR コンテンツ作成勉強会

AR(拡張現実感)を軸に各種開発ツールの利用方法や、Kinect 等のセンサデバイス、最新の HMD、画像処理ライブラリ等を組み合わせたコンテンツ開発方法を、実際に手を動かしながら学ぶ体験型の勉強会です。

○企業部門



株式会社 diffeasy (ディフィージー)

(福岡市博多区中洲 4 丁目 6-12 プラート中洲 6F)

弊社ではエンジニアの幸せと進化を第一優先に掲げ、出産、子育て、介護など人生のステージに合わせた柔軟な働き方を実現するため、創業当初より約 4 年間リモートワークや、時短勤務、シフト勤務を導入しています。常時リモートワークが 3 名いるほか、時短勤務や時間をずらしての勤務制度も毎日のように誰かが利用するなど活発に活用されています。

福岡から世界に向けてエンジニアが幸せに、そして成長できる環境を支援するため、2019 年 4 月より福岡市で開催される IT 勉強会に毎月 1 万円をスポンサーとして提供しています。制度開始以来これまで約 5 件制度を活用して勉強会が開催されました。自社主催のオープンな勉強会もこれまでに 11 回開催し、社内外のエンジニアの方に多数参加いただいています。2018 年 10 月より勉強会参加にかかる費用の補助を行って、制度を利用して遠方の大規模なカンファレンスに参加するなど活用されています。



Fusic Co., Ltd.

株式会社 Fusic (フュージック)

(福岡市中央区天神 4-1-7 第 3 明星ビル 6F)

当社では以下のような取り組みを実施しております。取り組みを総称して「マール制度」と呼んでおり、名称には「エンジニア全員が各々の興味に基づいてスキルを伸ばし、高いレベルで様々なスキルを持った集団でありたい」との意図が含まれております。

<創業時より実施>

- ・勉強会参加支援制度（国内外勉強会の参加費および旅費交通費を全額支援）
- ・書籍購入支援制度（業務に活かせる書籍の購入費を全額支援）
- ・資格取得支援制度（資格取得時の費用を全額支援、一部資格には報奨金あり）

<2016 年 8 月より実施>

- ・家族看病時在宅勤務制度（家族の体調不良時などの一時的な在宅勤務を許可）
- ・技術時間確保制度（チームで隔週に一度、1 時間、業務時間内に技術活動を実施）
- ・わくわく費用制度（業務外の技術活動に必要なデバイス等の購入全額支援）
- ・アプリ公開サーバー提供制度（業務外の技術活動における外部サーバー費用を全額支援）

<2017 年 5 月より実施>

- ・開発合宿制度（3 ヶ月に一度日帰りとは泊を交互に実施、任意参加、業務以外の技術活動）

<2019 年 3 月より実施>

- ・フルフレックス制度（コアタイムなし）
- ・リモートワーク制度（月あたり 4 回まで）

※詳細はホームページをご覧ください (<https://efc.fukuoka.jp/information/3116>)

14:00～ 開会・市長挨拶
「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」表彰式、受賞者プレゼン

15:00～ 基調講演「円周率世界記録への道」

2019年に円周率を小数点以下31兆桁あまりまで計算し、計算桁数における世界記録を樹立しました。この円周率の計算は話者の小学生時代からの夢で、まったく順調に行くものではなく、いくつもの偶然に助けられて実現しました。このセッションでは、小学生時代から円周率の世界記録を達成しニュースとなるまでの道のりと、記録達成を可能にした環境について説明します。



(登壇者) 岩尾 エマ はるか 氏 (いわお・えま・はるか)

プロフィール：Google Developer Advocate

組み込みソフトウェア開発者、Site Reliability Engineer などを経て2015年より現職。現在はGoogleのシアトルオフィスにて、Google Cloud PlatformのDeveloper Advocateとしてアプリケーション開発者に技術の魅力を伝える仕事をしている。大学では高性能計算および分散ファイルシステムを研究し、その経験を元にクラウド環境上での高性能計算を専門にしている。趣味は旅行とゲーム。

16:00～ 基調講演「サイボウズのエンジニア組織での継続的改善」

エンジニアが集まり、活躍し、成長するために企業は何をするべきか？これさえやっておけばOKという銀の弾丸は無く、状況に応じた改善を1つ1つ積み上げ続けていく必要があると考えています。サイボウズでは開発、学習、キャリア、OSS、働き方、給与など様々な領域で、マネージャーだけでなくエンジニアも主体となって改善が進んでいます。本講演では様々な改善とそれを支える文化をご紹介します。



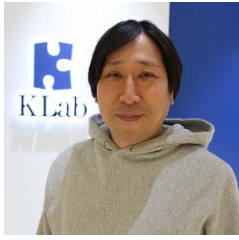
(登壇者) 水戸 将弥 氏 (みと・まさや)

プロフィール：サイボウズ株式会社 開発本部 組織運営チーム

2009年サイボウズにWebアプリケーションエンジニアとして入社。松山開発部長やスクラムマスターを経て、現在は開発本部組織運営チーム。2019年故郷である広島に移住。二児の父。

17:00～ 企業・コミュニティ講演「KLabのエンジニアを支えるカルチャー」

KLabでは個人の成長が会社の成長につながるという考えのもと、エンジニアの成長を促す様々な取り組みを行っています。これらの取り組みは制度として定められているもの、文化として定着しているものがあります。また、それに基づく具体的な活動について福岡事業所ならではのものを紹介します。



(登壇者) 村上 雅裕 氏 (むらかみ・まさひろ)

プロフィール：KLab 株式会社 技術統括部/技術広報グループ 技術統括部 /Unity エキスパートグループ グループマネージャー

2012 年に KLab 株式会社に中途入社。入社後は、iOS エンジニア→Unity エンジニア→開発リーダー→プロジェクトマネージャーを担当。現在は、技術広報グループ/Unity エキスパートグループのグループマネージャーを兼任。



(登壇者) 山田 雅人 氏 (やまだ・まさと)

プロフィール：KLab 株式会社 スタジオマネジメント部共通基盤グループ エンジニア

2012 年 KLab 入社。KLab 福岡 Meetup スタッフ

17:45～ 企業講演「老舗の食堂が大変貌を遂げた A I 活用による飲食店運営と、非 IT な現場スタッフの変化」

EBILAB は、三重県の伊勢神宮のほど近くで 100 年近くの歴史を持つ、伊勢の”ゑびや大食堂”から生まれた店舗経営ツール「TOUCH POINT BI」の提供企業です。来客予測・マーケティング効果測定による事業予測ソリューションを自ら開発し、過去のデータと組み合わせた分析により勘に頼らない店舗経営の実現までサポートしています。AI やビッグデータ、BI ツールを駆使している現場から生まれた現場発のエンジニアの遍歴と、如何にしてノンテックの人間を抵抗なく育て上げたのかをお話します。



(登壇者) 小田島 春樹 氏 (おだじま・はるき)

プロフィール：ゑびや、株式会社 EBILAB 代表取締役社長

1985 年、北海道生まれ。大学ではマーケティングと会計を専攻。大学卒業後、ソフトバンクに入社し組織人事や営業企画を担当。2012 年、妻の実家が営む「ゑびや」に入社し、店長、専務を経て、有限会社ゑびやと(株)EBILAB の代表取締役を務める。地域の課題解決をテーマに三重大学地域イノベーション学研究科の博士課程を単位取得退学したが、引続き論文を執筆中。



(登壇者) 秋吉 しのぶ 氏 (あきよし・しのぶ)

プロフィール：ゑびや、株式会社 EBILAB カスタマーサクセス

学生時代に身につけた英語・中国語・韓国語などの語学力を武器に、2016 年度よりゑびや食堂の“おもてなし担当”として活躍。2018 年、Microsoft の IT セミナーへの参加がきっかけで“機械学習”に魅了され、全くの初心者から社内でのシステム開発に参加。社内外の協力を得て機械学習モデル“来客予測 AI”を完成させる。システム開発部門 EBILAB で製品販売先のサポートも担当する。

18:45～ ネットワーキング

13:00～ 開会

AI カークラブ「iCar Lab.」 発足式

初心者でも AI を楽しく学べる AI カークラブ「iCar Lab.」がエンジニアカフェから誕生!

13:15～ コミュニティ講演「AI カーと AI カーレース」

最近話題の AI カーの構造や DeepLearning の使われ方について解説します。また、世界各地で開催されている AI カーレースのルールや走行方法、今後の開催スケジュール等に関して説明します。



(登壇者) 佐々木 陽 氏 (ささき・あきら)

プロフィール：株式会社 FaBo、株式会社 GClue 代表取締役

2001 年にモバイル Java ゲームの開発会社である GClue を立ち上げ、Android, iOS のアプリ開発や AWS, GCP をベースにしたソーシャルゲームの開発などを行う。2014 年にオープンソースハードウェアを軸として基板の設計製造会社の株式会社 FaBo を設立。アプリケーション企画開発やクラウドの構築、基板の設計製造までワンストップで行う体制を構築している。現在は、AI カーの車体開発や AI カーレースの啓蒙活動なども行っている。

14:00～ 企業講演「福岡におけるモビリティサービス(my route)の取組みについて」

トヨタが目指す「モビリティサービスカンパニーへの変革」に向けた取組み事例の一つとして、西鉄、JR 九州と共に福岡市・北九州市で展開中のマルチモーダルモビリティサービスの取組みを紹介します。これまで自動車業界と関わりの薄かった企業を含めた連携など、様々な企業と協調する試みやそのやりがいについてお話し、技術的なトピックにも触れる予定です。



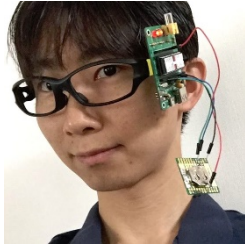
(登壇者) 間嶋 宏 氏 (まじま・ひろし)

プロフィール：トヨタ自動車株式会社未来プロジェクト室イノベーショングループ

2008 年 トヨタ自動車入社。省燃費制御システムの企画・開発に従事したのち、2018 年より新たなモビリティ・サービスの企画領域へ異動。同年 11 月より福岡で実証実験を開始した「my route」のプロジェクトリーダーを担当 (2019 年 11 月より福岡市・北九州市にてサービスイン) ヒトの移動を豊かにし、生活をもっと便利にするための様々な企画・実証を進めている。

14:45～ コミュニティ講演「オープンデータと IoT で創る、プログラマブルシティのススメ」

まちのデータ取得や手続きに API が使えたら超便利！自分で創ったサービスが、実際使ってもらえる喜びは格別です。オープンデータは、まちのすべてをプログラミング可能にするための第一歩。2012 年、たった 3 市から始まったオープンデータ都市は、現在 600 を越えて拡大中。IoT/xR/AI/UX とのミックス、活用法、楽しく続くコミュニティのカタチをご提案します。



(登壇者) **福野 泰介 氏** (ふくの・たいすけ)

プロフィール：株式会社 jig.jp(ジグジェイピー) 取締役会長

福井県鯖江市へのオープンデータ提案者、内閣官房 IT 室オープンデータ伝道師。鯖江市の全小中学校のプログラミング教育で導入、1500 円パソコン「IchigoJam」の発明者。すべてのこどもたちにプログラミングを、PCN 共同創設。企業横断プロジェクト KidsVenture に参画。プログラミングとオープンデータを専門とする、総務省地域情報化アドバイザー（北陸ブロック）。高専生支援のため、各地の高専を巡る、福井高専未来戦略アドバイザー。MSX BASIC を 8 才で始め、プログラミング歴 33 年。1999 年に福井高専を卒業。2 つの起業を経て 2003 年、ツールアプリを自社開発 B2C 提供する、株式会社 jig.jp を創業。「jig ブラウザ」を開発・提供。現在の主力事業は、スマホ向けサービス（ふわっち、うたオン）。

15:30～ コミュニティセッション

九州内外のコミュニティ関係者の方々が各地域のコミュニティ活動の状況・課題やコミュニティ活動の活性化の手法について話し合うセッションです。

(登壇予定者)

- ・株式会社 jig.jp 取締役会長 福野 泰介 氏 (福井県)
- ・公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長 青木 栄二 氏 (大分県)
- ・GMO ペパボ株式会社 鹿児島オフィスチーム 早崎 俊輔 氏 (鹿児島県)
- ・エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード受賞コミュニティ代表者

16:30～ 企業講演「新規事業への挑戦！」

正興電機製作所は、電力会社や公共事業に必要なシステム構築を行っている会社です。この堅実な仕事を行っている会社が、なぜ全く新しい分野に挑戦したのか？ロボット事業を始めた経緯やロボット事業を始めてからの苦労、やりがいなどをご紹介します。



(登壇者) **寺司 英昭 氏** (てらじ・ひであき)

プロフィール：株式会社正興電機製作所

2010 年 正興電機製作所入社。2010～2018 年 パワーエレクトロニクス設計部に所属し、蓄電システムのハード設計に従事。2018 年～ ロボット事業を担当。

17:20～ 企業×エンジニアトークセッション

エンジニアの働きやすい環境について、企業側とエンジニア側の求めるもの、描く未来について話し合うセッションです。

(登壇予定者)

エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード受賞企業、コミュニティ代表者!

18:30～ 交流会